

# 大内かわら版 NO.13

## 大内地区の「地域の教科書」

- ①暮らしに関することをまとめたもの  
(行事・役割、慣わしなど)
- ②地域の魅力・特徴などをまとめたもの

目的・効果

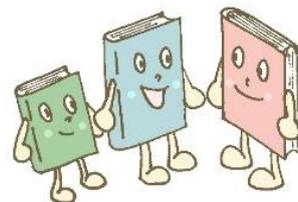
- 〔移住希望者〕大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらおう。選んでもらおう。
- 〔大内住民皆様〕・地域の魅力など認識の再確認をする。  
・在住行政区以外の行事・団体などを知る。
- 〔出身者・若い世代〕地域の魅力などを情報発信し理解してもらおう。

## 第1段階「地域の教科書」全戸配布イメージ

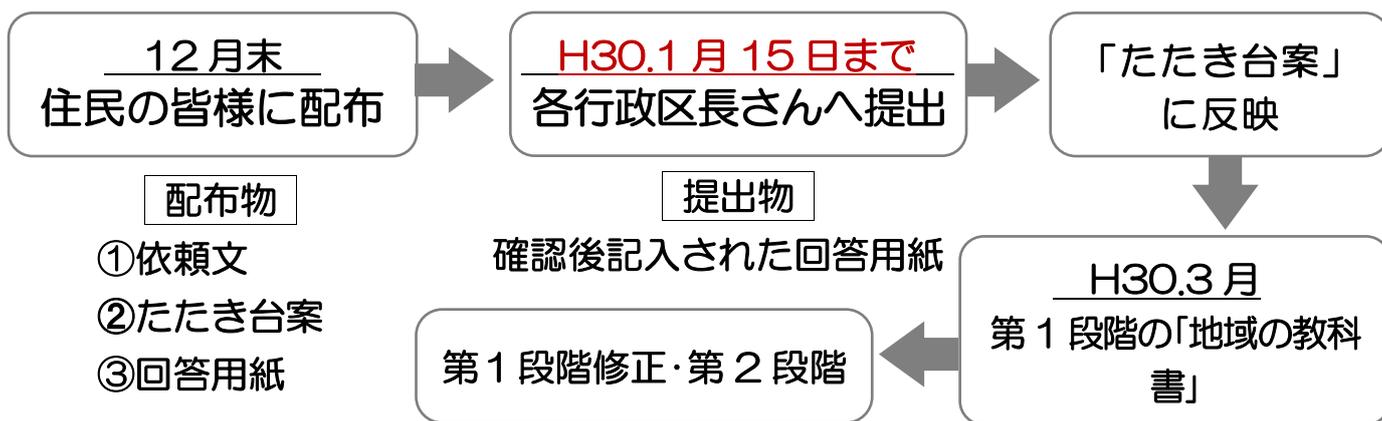
「地域の教科書」の「第1段階たたき台案」を平成30年1月広報と一緒に全戸配布します。

### なぜ全戸配布が必要なの？

- より良い教科書を作るため、たくさんの意見が必要です。
- 住民の皆さんとともに進めていくためです。



### 「たたき台案」の配布・回収方法イメージ（予定）



### 確認いただきたいこと

- 在住区と大内全体の「たたき台案」の内容をご確認ください。
- 自分の区について改めて考えてみましょう。  
どんな行事や役割があるのか、暮らしにかかる費用や暮らしのルールは？



自分の区を自分自身で見つめ直すと  
もっと暮らしやすくなる方法（負担等軽減）が見つかるかもしれません。

## 大内各地区の出来事や催しなど（11～12月中旬）



**大内小親子染色体験 11/17**  
佐野地織保存会などが講師となり地元産絹布を染色しました。



**自然薯掘り体験ツアー 11/18**  
仙台から30名程の方が来られ自然薯掘りを体験されました。



**第40回羽山まつり 11/19**  
恒例の催しのほか、第20回に埋めたタイムカプセルが披露されました。



**収穫祭（西向・台） 11/26**  
地域住民の絆を深める第2回収穫祭が開催されました。



**竹ノ内地区自主防災会 11/26**  
手動式浄水器の試運転などで防災意識を高めていました。



**正月飾りづくり 12/3**  
輪通しづくり体験を通して、大学生と交流されました。

## 移住事業・交流事業とは？ <6> 【次の世代(子や孫)につないでいく】

少子高齢化(過疎化)が進むと → → → 将来的に役職のいない手が少なくなる  
→ → → 誰しものが地域の役職を持っても足りない状況が起こりえます。  
**自分達の子や孫が将来大変にならないよう、現在はなんとかなくても、**  
**次の世代を見据え動いていく**という取り組みが各地で行われています。

### 香川県東かがわ市五名地区 取り組み事例

小学校廃校を機に住民自身が地域消滅の危機感を持つ。「自分達のまちは自分達で守ろう」「こども達に地域をつないでいこう」と地域再生を目指す協議会が立ち上がる。

こんな効果成果が！

#### ◆地域づくりを担う若者団体が発足

地域活動や外から人を呼ぶ交流イベントを行う。

#### ◆移住者受入を地域全体で支援

地域をつなぐため移住者を積極的に呼びこむ移住体験宿泊施設を整備。若い世代が20名移住した。

#### ◆地区のファンづくり

地区のファンをつくりいずれは移住してもらいたいと、市外の方との交流イベントを開催しファンづくりをしています。

**教科書づくりのたたき台案をきっかけに、今なんとかなくても、**  
**子や孫が大変にならないように話してみることも、この取り組みの一つです。**

大内でも「こども達や次の世代に大内の良さや魅力をつないでいきたい」ということを目的に「大内みらい屋」(若もん会)が設立され、各イベントで活躍中です！若い世代がさらに次の世代に地域の魅力をつないでいくことは非常に良い取り組みですね。

